

数学採点基準

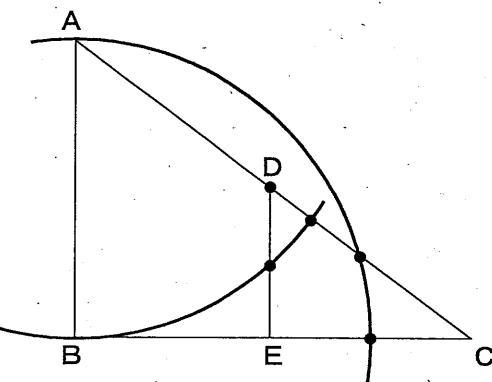
問題		正 答		配 点
大問	小問			小間 大間
1	(1)	① -1	2点	(1) (15) から 8 問 選 択
	②	-7	2点	
	(2)	$y = 6x + 3$	4点	
	(3)	$a = 2b - 4c$	4点	
	(4)	(過程) (例) $\begin{cases} 3x + y = 1 & \dots \dots ① \\ 2x - 3y = 19 & \dots \dots ② \end{cases}$ $\begin{array}{rcl} ① \times 3 & 9x + 3y = 3 \\ ② + & 2x - 3y = 19 \\ \hline 11x & = 22 \\ x & = 2 \end{array}$ $x = 2$ を①に代入すると, $3 \times 2 + y = 1$ $y = 1 - 6$ $y = -5$ 答 $x = 2, y = -5$	4点	
	(5)	(過程) (例) $(x - 6)^2 = 9$ $x - 6 = \pm 3$ $x = 6 \pm 3$ $x = 6 - 3, x = 6 + 3$ $x = 3, 9$ 答 $x = 3, 9$	4点	
	(6)	$12ab$	4点	
	(7)	8	4点	
	(8)	$4x^2 + y^2$	4点	
	(9)	$4 - 2\sqrt{3}$	4点	
	(10)	$\frac{165}{56}$	4点	

問題		正 答	配 点
大問	小問		小間 大間
1	(11)	53°	4点
	(12)	36°	4点
	(13)	$\frac{7}{12}$ 倍	4点
	(14)	$27\pi \text{ cm}^3$	4点
	(15)	$2\sqrt{34} \text{ cm}^2$	4点

32
点

問題		正 答		配 点
大問	小問			小間 大間
2	(1)	①	6 人	3点
		②	正しい (正しくない)	4点
		(理由) (例) ヒストグラムより、15分未満の3年生が26人であることがわかるので、通学時間の短い方から人数を数えて25番目以内には入らない。		
		①	(2 , -1)	
		②	$a = \frac{7}{4}$	
	(3)	①	[証明] (例) $\triangle A B F \sim \triangle D C F$ において 弧BCの円周角は等しいから, $\angle B A F = \angle C D F$ ① 対頂角は等しいから, $\angle A F B = \angle D F C$ ② ①②より、2組の角がそれぞれ等しいから, $\triangle A B F \sim \triangle D C F$	5点
		②	$5\sqrt{2}$ cm	
		(例)		
	(4)			4点
				29点

問題		正 答		配 点
大問	小問			小間 大間
3	(1)	①	9	2点
		②	16	
		③	720	2点
		④	x	
		⑤	1280	
3	(2)	(例) S サイズとM サイズのチーズケーキの相似比は、 $10 : 15 = 2 : 3$ であるから、体積比は、 $2^3 : 3^3 = 8 : 27$ となる。 x を用いて体積と値段の比例式をつくると、 $8 : 27 = 400 : x$ となる。これを方程式にして解くと、 $x = 1350$ となる。		5点
		⑥	ウ	
		(1)	$\frac{3}{10}$	
		①	(説明) (例) $A = 10x + y$, $B = 10y + x$ と表される。 $A + B$ $= (10x + y) + (10y + x)$ $= 11x + 11y$ $= 11(x + y)$ $x + y$ は整数だから、 $11(x + y)$ は11の倍数である。したがって、 $A + B$ は11の倍数である。	
		②	81, 92	
				11点
4	(2)	(1)	$\frac{3}{10}$	4点
		①	(説明) (例) $A = 10x + y$, $B = 10y + x$ と表される。 $A + B$ $= (10x + y) + (10y + x)$ $= 11x + 11y$ $= 11(x + y)$ $x + y$ は整数だから、 $11(x + y)$ は11の倍数である。したがって、 $A + B$ は11の倍数である。	
		②	81, 92	
				12点

問 題		正 答	配 点	
大問	小問		小問	大問
5 I	(1)	(過程) (例) $x = 2$ のとき, $AP = 2\text{cm}$, $BC = 4\text{cm}$ であるから, AP を底辺, BC を高さとみると, $y = 2 \times 4 \times \frac{1}{2} = 4$ となる。 答 $y = 4$	5 点	
	(2)	工	5 点	
	(3)	(過程) (例) $\triangle ABC$ は $\angle B = 90^\circ$ の直角三角形であり, $AB = 3\text{cm}$, $BC = 4\text{cm}$ であるから, $AC = 5\text{cm}$ である。また, $AC = CP$ より $CP = 5\text{cm}$ である。 点 P は毎秒 1cm の速さで動くので, $AB + BC + CP = 12\text{cm}$ より $x = 12$ である。 このとき, CP を底辺, BC を高さとみると, $y = 5 \times 4 \times \frac{1}{2} = 10$ となる。 答 $x = 12$, $y = 10$	6 点	
5 II	①	$y = 3x$	3 点	I と II から 1 問 選択
	②	(過程) (例) $\triangle ABC$ は $\angle B = 90^\circ$ の直角三角形であり, $AB = 6\text{cm}$, $BC = 8\text{cm}$ であるから $AC = 10\text{cm}$ である。点 D は辺 AC の中点であるから, $DC = 5\text{cm}$ である。 また, 点 E は辺 BC の中点であるから, 中点連結定理より, $DE = 3\text{cm}$ である。 $BC + CD + DE + EB = 20\text{cm}$ より, 点 P は 20 秒後に点 B に戻る。 16 $\leq x \leq 20$ のとき, 点 P は BE 上にあるので, x 秒後の BP の長さは, $BP = (\text{点 } P \text{ が } 20 \text{ 秒間で動いた長さ}) - (\text{点 } P \text{ が } x \text{ 秒間で動いた長さ})$ $= (20 - x)\text{cm}$ と表される。 このとき, AB を底辺, BP を高さとみると, $y = 6 \times (20 - x) \times \frac{1}{2} = -3x + 60$ となる。答 $y = -3x + 60$	5 点	
	①	(例) 	3 点	
	②	$x = 10 + 2\sqrt{5}$	5 点	16 点
合 計 100 点				